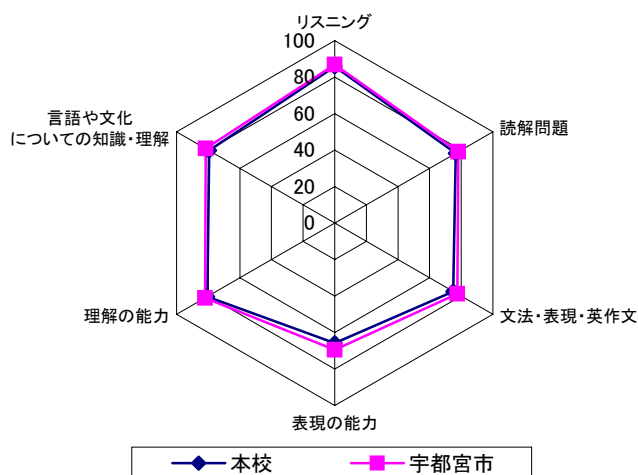


宇都宮市立旭中学校第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	85.7	86.9
	読解問題	76.4	78.2
	文法・表現・英作文	74.9	77.6
観点別	表現の能力	65.8	69.5
	理解の能力	80.7	82.2
	言語や文化についての知識・理解	79.4	81.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング (85.7%)	・宇都宮市と本校を比較した場合、市の平均を1.2ポイント下回っている。しかし、小問ごとに見た場合、平均を上回っているものもある。	・今後も授業中、生徒ができるだけ生の英語に触れられるよう、英語を多用するとともにALTも活用していく。 ・ある程度まとまりのある長い英文を聞いて、内容を理解する練習を普段の授業の中に積極的に取り入れ、答え合わせの際には、スクリプトを提示し、聞き取りにくかった箇所を確かめられるよう配慮する。
読解問題 (76.4%)	・宇都宮市と本校を比較した場合、市の平均を1.8ポイント下回っている。しかし、2年次には3.7ポイント下回っていたことから考えると、進歩が見られる。	・今後も教科書本文の内容を大まかにつかみ、本文に関する日本語でのQに日本語で適切に答える、また英語でのQに英語で答えるといった練習を、口頭練習とライティング練習の両方にうまく取り入れていく。 ・時には教科書を離れた英文を取り上げ、英語で書かれた物語を読む楽しさを味わわせるとともに、内容を理解するトレーニングも取り入れる。
文法・表現・英作文 (74.9%)	・昨年度と問題が異なるため、比較はできないが本年度の宇都宮市の状況と比べると2.7ポイント下回っている。しかし、2年次7.6ポイントも差が合ったことから考えると、かなり改善されていると考えられる。	無記入の率も市の平均と比較して高いことから、わからないとあきらめてしまう生徒がかなりいる。問われている表現そのものが出てこなくても、対話の流れに沿った英文を、自分の知っている表現に言いかえて書くことを指導する。また、語彙を増やすためのインプット活動や、辞書を活用する活動を進んで取り入れる。また、表現力は一朝一夕に身につくものではなく、1年次からの正確な文法力に基づいた基本本文の習得も大切である。表現の幅を広げると同時に、基礎基本を大切にする。